

## 原発事故の広域避難に疑問

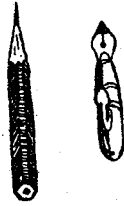
松江市鹿島町

安達 進 67歳

島根原発2号機（松江市鹿島町片匂）は原子力規制委員会の規制基準審査に来年中には合格し、地元の同意不同意が求められる段階になるとのことです。同意不同意を考える上での一つの大きな問題は、過酷事故を想定した広域避難対策です。いくつかの例を挙げて問題提起します。

一つ目は、鹿島町の住

民は放射性物質拡散時に大田市に避難するように指示されていますが、避難当日に風向きが北東の



風でも、放射能が流れる中、大田市に避難するのでしょうか？

二つ目は、過酷事故発生から放射性物質拡散ま

での時間が非常に短い場合はどう避難すればよいのですか？

三つ目は、避難経路上の全ての橋は代替経路も含めて十分に地震対策がされているのですか？

これらの例を含めた多様な避難対策について、何をどの水準にまで対策が完了しているなら再稼働に同意できるのですか？

島根県、松江市は再稼働に足る避難対策の水準とそれに至る整備工程をあらかじめ明確にしてください。